

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2026 年

2 月

246号

- ◇ 超高齢化社会の覚悟
- ◇ 認知症予防はこれだ
- ◇ 親の介護で困らない方法
- ◇ 災難を逃れる妙法

何は
命大の
春寒
まじりく



ホームページ

宗教法人 真生会

～お知らせ～

行事法要のご案内

開祖さま^{しょうがんき}笑顔忌 2月27日(金)

真生会を開教し、不自惜身命の精神で
会員信徒を導いて下さった田中偉仁開祖
さまの温かく包み込む笑顔のお姿を偲
び、報恩感謝の祈りを捧げましょう。

(平成20年2月27日ご入寂)

※供養読経・法座については各教会の日程表でご確認下さい



春季彼岸先祖大法要

3月22日(日)10:00 総本山、岐阜教会(合同)

※於：総本山真生寺

3月15日(日)10:00 大阪教会

3月17日(火)10:00 名古屋教会

※只今、総本山・各教会において供養受付中

会長先生より読誦の
心構えが伝えられた



大阪教会の寒修行読誦

令和八年一月寒中、総本山真生
寺・各教会において寒修行を執り
行なった。総本山の様子は会員信徒
へ向けYouTubeライブ配信
をした。参加者は一心に法華三部
経を読誦し、受持の心がより堅固
になる修行となった。

寒修行 法華三部経読誦

仏の智慧を身に付けよう!!

令和八年信仰目標

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、
自分の運命を変え在家の法華経教団で
す。宗旨宗派は問いません。どなたでも
安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

新年祝寿祈願大法要

令和八年一月各日、総本山真生寺・各教会において新年祝寿祈願大法要を執り行った。総本山では法要に先立ち左義長の儀が厳修され、旧年に真生会より授与されたお札等がお焚き上げされた。続いて法要では、子供奉献の儀、御詠歌奉納の後、各々の祈願が読経供養にて導師によ



御本尊様御前においてご祈願が読み上げられた



恩師の池前にて福だるまやお札などがお焚き上げされた

り読み上げられた。最後に会長先生の新年ご真教法話を拝聴し、新年の決意を新たにしました。



大阪教会長の法話を拝聴する信者

ユニセフ寄付金感謝状

当会は、ユニセフが主催する世界中の子どもたちの命を守り、未来への希望をつなぐための「ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム」に継続支援をしています。些少ながら、昨年一年間の寄付に対し、感謝状を頂戴致しましたのでご報告申し上げます。引き続き、支援を行って参ります。



田中偉仁開祖さまのみ教え

たなかひでひと



高齢者や親から眺めると、今の若い者には覇気がない、情熱がとぼしいと批判し、愚痴をこぼすが為、若者は親から遠ざかり勝手気ままに独走してしまう。昔も今も若者は若さを発揮し、情熱を燃やしたい心は変わらない。若者のエネルギーに火をつけるのは、高齢者であり、親である。かつて私が妻をめぐり一

子をもうけた頃、父の倒産により赤貧洗うが如きどん底の生活の時がありました。歯を食いしばって布教活動をしていましたが、わが暮らしは好転せず、人生の壁にぶつかってしまったある日、夫を亡くし、淋しい、悲しい、その上に頼りにする長男夫婦には力がない、普通なら愚痴をこぼし、若者の批判をするはずの母が、私達夫婦の前に頭を下げて涙ながらにこんな事をいつてくれたのです。「あんた達に苦勞をかけてすまぬ。手足まといになるかもわからぬが老骨にむちうって協力するから、私にもう一度苦勞をさせてくれ。」この一言は、情熱も希望の灯も消えていた私達夫婦に勇気を与えてくれた嬉しい母からのプレゼントでした。

(1985年、真実に生きる57号より)

ご真教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと



◇超高齢化社会の覚悟

超高齢化社会になり、年老いた親を誰がどのように世話をするか、老夫婦が子供たちに迷惑を掛けずにどう生き抜くかが大きな社会問題です。著者も六十五歳以上の前期高齢者となり他人事ではありません。

昭和十六年（太平洋戦争直前）今か

八十五年前の日本人の平均寿命は男女ともに約五十才でした。現在は人生百年時代の二倍の人生となり、二度目の人生である老後を子供世代に頼り過ぎれば共倒れです。自分たちで老後を生き抜く覚悟を決めなければならぬ時代になりました。

- ・日本の全人口、1億2,000万人
- ・百歳以上の老人、10万人
- ・六十五才以上の老人、3,620万人（全人口の約三分の一）

- ・日本の全世帯数、5,621万世帯
- ・六十五歳以上の高齢者がいる世帯

2,750万世帯（全体の二分の一）

※老夫婦のみ、独居老人世帯の合計

1,650万世帯（全体の約三分の一）

※祖父母、親、子の三世代同居世帯の合計

1,100万世帯（全体の約五分の一）

★三世代同居家族は全世帯の20%で、もはや重要文化財、天然記念物的な稀少家族です。

子や孫と同居できている六十五歳以上の親は、



当たり前ではなく先ずは感謝です。そういう時代になったのですから、子供と同居出来たらラッキーと喜びましょう。

ゲートボールやカラオケ、旅行や観劇という楽しみも結構ですが、残された時間は限られているので信仰心をしっかり持って、少しでも家族や社会の役に立つ終活「**徳積みの総仕上げ**」を急ぎましょう。

また若者世代の夫婦は、少子化が加速しもつと厳しい老後を迎えることは火を見るよりも明らかです。自分たちも将来は老人施設に入ること

を覚悟し、節約をして貯蓄をしておく必要があります。しかし、いくらお金があっても最後は徳次第です。たとえ高級老人ホームに入居しても寝たきりになったり、誰も訪ねて来てくれず「早く死んだほうがいい」と夢も希望もない人生は孤独地獄です。

核家族が当たり前となり、長男・次男・長女・次女は単なる生まれた順番の符号であってみな平等、跡取りという役目や言葉が死語となり、若者世代は子供の教育・養育費とマイホームの住宅ローンのために共働

きで、親の老後を世話する余裕はないのです。

定年を過ぎ前期高齢者になったら、子供に依存せず如何に夫婦が共に元気で仲良く安心して老後を過ぎすか、認知症にならず子供たちや周囲に迷惑を掛けない生き甲斐のある老後を送る強い決意が必要です。強い決意は必ず実現します。それを「一念三千」というのです。

頼りになるのは強い決意と積んだ徳だけです。

良寛和尚が「死ぬ時節には死ぬがよく候。これは

これ災難を逃るる妙法」と言ったように、死期が来た時には長患いしたり、痛みで苦しんだりせず、さ

らりと死ねる徳積みながわすらの生活をして認知症にならない

老後を向かえましょう。

◇認知症予防はこれだ！



笑顔よ人の
心光
玉月

どうしたら認知症にならないかを考えましょう。ざっくり言えば、人とのコミュニケーションや人のことを考える大脳が退化し、生きて行く最低限の飲食と睡眠を司る小脳だけが働いている状態が認知症と言えます。だから認知症の予防策は次の二つです。

①自分の幸せや楽しみだけでなく、人様に喜んでもらう生き方をする。悪いこともしないが善いこともしないという自己中心の狭い考え方は、じり貧で先細りの人生になります。

②些細なことで怒らないこと。意に添わないことでも「これくらいで済んで有り難い」と感謝すること。

よく怒る人の知恵は三歳の童子より劣ります。怒りは自分の思うようにならないから起きるのです。

つまり①と同様に心が狭く、狭い正義感や頑固な性格ですぐ怒ることは身を滅ぼす原因になります。怒りは病氣・貧乏・災難のもと、健康も経済も人間関係もすべてを壊してしまいます。

◇親の介護で困らない方法

「報恩の人生は栄え、忘恩の人生は滅ぶ」というのが真理です。親に育ててもらった恩返しを怠らないことです。

借金の返済をしないで何十年も放置してあると莫大な利息が付いて請求されるのと同じで、育てゝもらっぱなしで放置してあると、人生が狂ってしまうような請求書が天から来るのです。

親が子供を一人前の社会人になるまで育てるのは当然の責務ではありますが、一人前になるまでには習い事やスポーツ、学習塾など膨大な教育費養育費と労力の手間暇を掛けてもらって育つのです。

恩返しのでき残しがあると金銭的苦労、介護の身体的苦労、先が見えない精神的苦労が利息を付けて



先師の名言、名句

【五福自来】

人生の幸福とは、長寿・富裕・健康・円満・尊敬の五つがバランスよく整うことが本当の幸せです。どれか一つが欠けていたり、偏っていたら真の幸せとは言えません。仏さまの教えである八つの正しい生き方（八正道）をしていれば自おのずと五福はやって来るのです。



【昭和 55 年 3 月開祖さま書】
（谷口祐晟様所蔵）

ブーメランのように我が身に帰って来るのです。ホテルで宿泊・飲食をして代金を払わずに出て行ったら、無銭飲食で捕まり手錠が掛かるのと同じで、育てられっぱなしで家を出ていけば天から手錠が掛かります。社会人になったら、同居であつても無くても親に生活費を渡せるようになって初めて一人前と言えます。結婚するまでは、自分の収入に応じて育ててもらった恩に報いましょう。

◇災難を逃れる妙法

異常気象や大火災や大地震などの自然災害、戦争や交通事故、身近で頻繁に起きる殺人事件、今や世界のどこにいても無関係とはいえません。どうしたら、天災・人災から逃れることが出来るのでしょうか。非常時の蓄えと訓練は大切ですが、最後は平素の徳次第です。誰かが代表で徳を積んで居れば家族は守られるかもしれませんが、「家」という觀念が希薄になった現代、個人の徳分が運命を大きく左右します。各自がしっかり妙法実践を心掛け、個人の徳を積みましょう。

「まごころ誌代」御礼

土川順寛	鈴木正巳	田中花音	永田雅子	出田 溪
土川恭代	京川春男	亀井善広	滝山恵依子	細谷早予子
土川康二	横井志奈子	亀井由実子	笹原トミ子	深田伊佐夫
土川廣美	横井明彦	熊田啓子	笹原正子	多田正幸
横山知津子	松尾定洋	早野起世	荒木敬依子	多田道子
山本季美衣	足立和美	早野桂子	小村友子	斉藤玲子
佐藤百々枝	山部眞一	鈴木快法	村上視佑記	田島伸一郎
佐藤光洋	平工晴康	高橋身衣	平口富子	大西佑樹彦
伊東 晃	飯田昌子	山田佳延	大下裕子	大橋末子
安田初子	飯田修五	安江澄子	坪井祥子	多田敏春
増田恵視子	多田佳央	堀部恭利	宮島りえ	山田美保子
滝本光夫	田中庸仁	堀部祐美衣	谷口祐晟	豊田直正
福元正子	田中佑季子	加藤祐記子	谷口祐子	豊田真悠子
東森敦巳	田中祥陽	杉浦妙子	堀田純子	後藤千代子
岸本周夫	田中理夏子	坂本育身	大西啓依子	新山律子
岸本昌子	田中宏明			

★皆様の『まごころ次第』献金の協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058 (235) 7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

今月の運勢（3月）

（2026年3月5日～4月4日）

一白水星

行く手には険しい山があり、後ろには急流があり進退窮まる。しかし音をあげてはいけな
い。焦って盲進せず、立ち止まって今日までのやり方を変えよう。
派手な行動はせず粘り強く進めば吉となる。

二黒土星

太陽の輝きが隠れ、日当たりの悪い所にいる。反面、明るいはよく見える。他人には自分の才能をひけらかしたり本心を軽々に表わさず、掴み所のない態度を心掛けること。

三碧木星

塞がっていた先がよう

やく見えてくる。剣難

が去り一気に解決の道筋が開けてくる。大地のようにどっしり構えて解決すべき問題は早急に解決し、後は静観していればよい。

四緑木星

見せかけや形式的態度では人はついて来ない。目上の者に誠心誠意仕える姿に人が感銘して応援してくれる。思いも寄らない所で人から見られていることを忘れないように。

五黄土星

朝日が昇るようにつくくり運氣が上がって来る。朝早くから明るいうる。声で声がけをして活動

すること。朝寝坊は運

気を下げる。何事にも前向きに臨み一つ一つ着実に実行すること。

六白金星

人生は出会いとめぐり逢いの不思議である。異質との出会い、望まない出会いもあるが、そこには人知を超えた大きな力が働いている。出会いが吉となるか凶となるかはこちら

七赤金星

の受け止め方次第。年明けから活発に駆け抜けて来た足をちよつと休めてみよう。周囲の様子を確かめながら、心身のエネルギーを蓄える時である。周

囲はあなたの行動に注

目していることを忘れないように。

八白土星

新しく行動することよりもこれまでの努力の成果を集約すること。いかなる困難も乗り越える力がある。尊敬できる人に仕えて励めば大きな事を成し遂げることが出来る。

九紫火星

収穫の楽しい時期を迎えているが、近い人と意見の食い違いで仲たがいする危険がある。大事を為す時ではないが小事なら善い。プラスマイナスがあつて電気は流れる。

しあわせ眼鏡

光が強ければ陰は濃い
影が薄ければ光は弱い
光とは成功と幸せ
影とは苦勞や努力
成功者や幸せな人は
見えない所で
人の何倍も
苦勞と努力をしている
あなたはどうか!?

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市川川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします